日本の未来を拓くよすが(拠)を求めて - 日本の近代化を導いた人々の思想と行動、その光と影を追う -

日本社会の古層から日本的なるものを発掘した人物 (Part Ⅱ 思想・文学分野)

## 治における<鉄道>

## 【講演要旨】

宮沢賢治は、明治 29 年(1896 年)岩手県花巻に生まれた詩人・童話作家として有名です。 若干 37 歳で亡くなるまで、文学のみならず農村の指導や青少年の教育など多彩な活躍をして いますが、その作品が有名になるのは死後の事です。文明開化から取り残された東北の地に生 まれながら、彼の作品には、化学や地質学や進化論など当時の先進科学やヨーロッパの精神に 対する深い理解が見られる一方、賢治自身の日蓮宗への篤い帰依をも示しています。このよう に、東西の文化、科学と宗教を自在に横断する賢治の精神世界がいかにして成立したのか、当 時近代化の象徴と見なされていた鉄道との関連を通して論じてみたいと思います。

## 【講師略歴】

1950 年大阪市に生まれる。東京大学教養学科フランス科卒業、東京大学大学院博士課程(哲 学専攻)修了、元千葉大学文学部教授。哲学者。

著書に、『ニーチェの遠近法』(青弓社 1996)、『哲学史のよみ方』(ちくま新書 1998)、『魂の 美と幸い』(春秋社 1998)、『スピノザという暗号』(青弓社 2001)、『読む哲学事典』(講談社 現代新書 2006)、『神学・政治論』(勁草書房 2009)、『正義の哲学』(河出書房新社 2011)、 『古代ギリシアの精神』(講談社選書メチエ 2013)などがある。

2016年2月23日(火) 18:00~20:30

公益財団法人国際高等研究所

参加費: 2,000 円 (交流・懇談会費用を含む)

40 名(申し込みが定員を超えた場合は抽選) 昌: 定

认: 「参加申込書」(裏面)によりお願いいたします 申

詳細: http://www.iias.or.jp/public/goethe.html

しめきり 2月14日(日) 必着

公益財団法人

けいはんな「ゲーテの会」とは・・・

国際高等研究所 けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を itlonal Institute for Advanced Studies 乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出し

た文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。高等研にあるゲーテの 胸像はその理念のシンボルです。満月の夜は高等研で、人類の未来と幸福・けいはんな学研都 市の将来について一緒に考えてみませんか。

第32回







## 参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、 外部に公開することはございません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆ 〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地 公益財団法人国際高等研究所 事業部 けいはんな「ゲーテの会」事務局

E-mail: goethe0828@iias.or.jp FAX: 0774-73-4005

第 32 回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 2016 年 2 月 23 日(火)開催		
お名前		
ご所属		
部署		
役 職		
連絡先	ご住所	
	TEL	FAX:
	E-mail	

■ 会場案内

